

市長の

やまがた自慢

「全国都市問題会議を開催！」



10月8日、9日の2日間、やまぎん県民ホールにて、第88回全国都市問題会議を開催します。この会議は、都市の抱える問題や行政課題の解決に向け、全国の市長、議員、自治体関係者、研究者が一堂に会し議論する、伝統ある会議です。年に1回、全国各地の都市で開催されますが、山形県内では今回が初開催となります。

主催は山形市と全国市長会、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所、公益財団法人日本都市センターの4者になります。募集を開始してすぐに参加申し込みが上限の2000名に達し、山形市の取り組みに全国の関心が集まっていることがうかがえます。

開催テーマは「広域連携による都市圏づくり／活力ある多極型社会へ向けて」です。「極集中ではなく」「多極」の国土構造こそが日本全体の発展と持続可能性につながるということをしかりと主張し、広めていきたいと思っています。

閉会後には、参加者がグループに分かれてシエルトインクルーシブプレイスコパルや、やまがたクリエイティブシティセンターQ1などの山形市の施設や観光地を視察していただきます。経済効果に加え、山形市のPR効果にも非常に大きな会議です。全国からお越しいただく皆さまをしかりとお迎えしたいと思います。



昨年度（宇都宮市）開催時の様子

山形市長 佐藤孝弘

未来をひらく

人と企業

今回は、入社3年目の岡崎三四郎さん（おかざきさんしろう）に、入社のかきつけや、仕事のやりがいなどについてお話を伺いました。

「長く働ける会社」で

成長したい

就職活動では『長く働ける会社』を軸に企業を見ていました。転職の多い時代ですが、一つの会社で長く働くからこそ学べることもあると思います。

そのため、社風や社員の人柄に注目し、成長できる環境かを真剣に考えて選択しました。今はこの会社で自分が成長するだけでなく、周囲を支えられる存在になることが目標です。

やりがいは

お客さまとの信頼関係

『岡崎さんだからウンノハウスを選んだ』と言っていただけた時は、大きな喜びを感じます。家づくりは人生に関わる大きな決断だからこそ、お客さま一人一人の思いや希望に寄り添うことを心掛けています。お客さまによって求めるものは違うため、その方に合った提案を考えています。責任やプレッシャーも伴いますが、お客さまとの信頼関係を築けた時には大きなやりがいを感じます。出会いを大切にし、信頼される担当者であり続けたいです。



インタビューをもっと読む！



ウチの会社の

ココが良いいココ

入社前のイメージどおり、お客さまにも社員にも寄り添う会社です。社員同士が支え合う社風が根付き、若手も挑戦しながら成長できる環境があります。

株式会社ウンノハウス

1959年会社設立。木造住宅で培った技術を生かし、事業用建築も手がけるなど事業の幅も拡大。地域密着ならではの提案力で、暮らしと地域の未来を支えています。市が共催する「みらいチャレンジパーク」にも出展し、子どもたちにもものづくりや建築の仕事の魅力を伝えていきます。

株式会社ウンノハウスホームページ▶



たくさんある山形市の魅力ある企業のなかで、若手社員が生き生きと活躍する様子をご紹介します。
問 働きやすさ追求室（☎内線411）